

## 質問者



岡井 馨一郎 議員

## 問 防災対策への対応は

7月3日、10日、2週続けて梅雨末期の大雨がありました。当日は、町長初め町職員、消防団、消防署の方々に大変お世話になりました。一時間当り50ミリ以上の降雨、12時間余では245ミリ以上の雨が降り、道路が川になり、河川は満水で、浸水地区も多数ありました。瞬時に大量の水が海岸線へ流れます。今の河川では十分に排水できないと思います。今後新しい河川の増設を。

## 答 水防対策本部などを設置し減災に努力

答弁 佐伯助役

被害を未然に防ぐために、気象情報等の収集に努め、被害を最小限にとどめるよう努

力します。住民の要望があれば土のうも用意し浸水に備えます。河川の新設については、長尾谷川左岸の土川、早船排水路の雨水を、宗意原交差点付近で分岐し江川遊水池への

排水の計画を立て県と協議、概ね整ってきた状況です。その他の排水については、県と粘り強く協議をしているところです。



浸水状況

## 問 都市計画のマスタープラン策定の対応は

東レ(株)愛媛工場の増設、大型商業施設の出店と明るい町の流れとなっています。地形的に見ても、交通の面から見ても、当町は前途洋々です。平成19年度に向かったの都市計画マスタープランの策定に以下の項目についてお答えいただけます。

調整区域、特に農業振興地域になっている土地で、有効利用の出来る土地についての規制除外は、防災の観点から浜地区の開発について。地場産業の雄である珍珠について、松前ブランドでの育成はどの様に。国道56号線沿線の開発について、規制の緩和による明るい町づくりを。

## 答 地域住民の意見を取り入れまちづくりに反映

答弁 白石町長

当町は市街化区域と市街化調整区域に分かれており、ほとんどが市街化調整区域に入っています。県に対し市街化区域への編入を要求していますが、松山市を中心とする広域都市圏に入っており、町独自では判断できません。都市計画マスタープラン策定に当てることができる皆さんの意見を取り入れていきます。

浜地域の開発については、住環境の整備とともに、防災面でどうするかといったことも含めて、一体的に整備をしていく必要があります。地域の特産である小魚の珍珠については、今全国の80%を占めるといわれています。知名度については十分浸透していません。町として知名度アップや販路拡大に努力してまいります。国道56号沿線の開発については、大型商業施設の設置等ができた段階で、開発できるような措置が取れるよう県に要望していきます。